

**研究者：高橋 収**（所属：北海道倶知安保健所）

## **研究題目：北海道の地域包括ケアシステムにおける歯科職種の参画に関する実態把握**

### **目的：**

いわゆる団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年を目安に、地域包括ケアシステムを構築することが国策として掲げられ、各市町村は地域支援事業として在宅医療・介護の連携、認知症施策の推進等に取り組むこととなった。しかしながら、行政はもちろんのこと、医療や介護の関係者は、必要性は認識しているものの取り組み方が分からず暗中模索の状態にある。地域の歯科医療従事者もまた、周りの状況が分からず、自らの立位置を見つけられずにいることが窺われる。

そこで、北海道内の歯科医療機関に対して、訪問歯科診療の状況及び介護職員との連携の状況についてアンケート調査を実施し、今後の歯科医療と介護の連携に係る基礎資料とする。

### **対象および方法：**

まず、北海道保健福祉部の Web サイトで公表している道内医療機関一覧（平成 28 年 10 月 1 日現在）に掲載されている歯科診療所及び歯科を標榜する医療機関のうち、平成 28 年 12 月 1 日時点で休止となっていない 3,073 施設から、「歯科」を標榜している 3,010 施設を母集団として設定した（「小児歯科」のみ、「矯正歯科」のみ等は除外した）。次に、これら 3,010 施設を道内 30 保健所単位に分類し、保健所ごとの構成割合が等しくなるよう、合計 500 施設を抽出した。

抽出した 500 施設に対して事前にアンケート調査に係る挨拶状を送付したところ、2 施設が送達不可であったため、498 施設に対してアンケート調査票を送付した。回答期間を平成 29 年 2 月 13 日～2 月 28 日に設定し、292 施設から回答を得た。

アンケート項目は、常勤・非常勤の歯科医師数、協力歯科医療機関となっている介護保険事業所数、訪問歯科診療の実施（平成 28 年 12 月の実施患者数、訪問歯科診療実施場所、実施時間帯、依頼元）、実施していない理由、介護保険事業所との連携状況、介護関係職員から提供して欲しい情報、望ましい連携手段（照会方法等）、地域包括ケアシステムの研修への参加希望と希望する研修内容とした。

### **結果および考察：**

以下、代表的な結果とその考察について述べる。

まず、協力歯科医療機関となっている介護保険事業所が「ある」と回答した医療機関は 55（18.8%）、「なし」が 227（77.7%）、無回答が 10（3.4%）であった。医療機関に従事する歯科医師数と関連があるものと仮定して、常勤歯科医師数・非常勤歯科医師数とクロス集計したが、従事歯科医師数との関連は認められなかった。

常勤歯科医師数		0人	1人	2人	3～4人	5人以上	合計
協力歯科医療機関となっ ている介護保険事業所	あり	0	42	11	1	1	55
	なし	3	187	32	3	2	227
	あり (%)	0.0%	76.4%	20.0%	1.8%	1.8%	100.0%
	なし (%)	1.3%	82.4%	14.1%	1.3%	0.9%	100.0%

非常勤歯科医師数		0人	1人	2人	3～4人	5人以上	合計
協力歯科医療機関となっ ている介護保険事業所	あり	43	4	2	3	3	55
	なし	181	28	8	8	2	227
	あり (%)	78.2%	7.3%	3.6%	5.5%	5.5%	100.0%
	なし (%)	79.7%	12.3%	3.5%	3.5%	0.9%	100.0%

訪問歯科診療を実施している医療機関は118 (40.4%)、実施していない医療機関は174 (59.6%)であった。訪問歯科診療の実施時間帯としては、「診療時間内」がもっとも多かったが、「特に決めていない」医療機関も少なくなかった。

	診療時間内	診療時間外	特に決めて いない	その他	合計
回答数	56	41	18	3	118
%	47.5%	34.7%	15.3%	2.5%	100.0%

訪問歯科診療の依頼元（複数回答）では、「患者または家族」、「施設」、「医療機関」の順で多かったが、「歯科医師会」も多かった。このことから、道から、北海道歯科医師会に委託して、第3次医療圏ごとに整備を進めている在宅歯科医療連携室が機能しつつあることが窺われた。

	患者または 家族	行政	施設	医療機関	訪問看護ス テーション	居宅介護支 援事業所	
回答数	97	4	59	33	12	28	
%	82.2%	3.4%	50.0%	28.0%	10.2%	23.7%	
	地域包括支 援センター	訪問介護事 業所	通所介護事 業所	歯科医師会	その他		合計
回答数	13	10	6	24	1		118
%	11.0%	8.5%	5.1%	20.3%	0.8%		100.0%

訪問歯科診療を実施していない理由（複数回答）では、多忙、人員及び医療機器不足のほか、院外では十分な医療を提供できないとする回答が目立った。

	外来歯科診療等で忙しい	医療機器がない	人員の不足	患者から要望がない	採算が合わない	
回答数	87	84	85	48	13	
%	50.0%	48.3%	48.9%	27.6%	7.5%	
	体力的な理由	院外では十分な医療を提供できない	疾病・疾患への対応が困難	その他		合計
回答数	35	68	26	17		174
%	20.1%	39.1%	14.9%	9.8%		100.0%

医療と介護の連携に関して、歯科医師と介護関係職員との連携に係る手段を問うたところ（複数回答）、文書、施設職員の同行、電話、FAXの順に多く、筆者が多いものと推測した電子メールは、意外にも順位は低かった。施設職員の同行については、施設基準の都合上、困難であると考えられるため、解決できる方法の検討が必要である。

	医療機関で面談	文書による照会	電話	ファックス	電子メール	
回答数	84	149	107	93	77	
%	28.8%	51.0%	36.6%	31.8%	26.4%	
	会議への歯科医師による出席	患者が歯科医療機関を受診する際の介護関係職員による同行	その他	無回答		合計
回答数	57	138	5	10		292
%	19.5%	47.3%	1.7%	3.4%		100.0%

#### 成果発表：

他の項目の回答状況や地域性等との関連性等、紙面の都合により本報告書には記載できないため、今後、北海道口腔保健学会等において発表する予定である。